

平成 26 年度畜産学教育協議会シンポジウム

畜産学教育の質保証の在り方を考える

主催 畜産学教育協議会

後援 (公社)日本畜産学会

日時：平成 27 年 3 月 27 日(金) 13:30-15:30

会場：宇都宮大学峰キャンパス 4 号館 1341 教室

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町 350

プログラム

13:30-

会長挨拶

吉村幸則（広島大学大学院生物圏科学研究科）

13:35-

講演「産官学から考える畜産学の研究・教育の強化」

入江 正和 先生（近畿大学生物理工学部）

14:15-

畜産学教育の質保証の在り方についての意見交換

(1) 開講科目の状況に関するアンケートの集計報告（事務局）

(2) アンケートに回答して（コメント）

上曾山 博 先生（神戸大学大学院農学研究科）

(3) 総合討論

15:15-

総会・会務報告

15:30

閉会

シンポジウムの開催にあたって

日本学術会議農学委員会・食料科学委員会合同農学分野の参照基準分科会によって「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準（農学分野）」が検討されています。この参照基準の策定は、平成 22 年の「大学教育の分野別質保証の在り方」や平成 20 年の「対外報告：農学教育のあり方」に基づくものです。参照基準（案）がまとめられて、2014 年 7 月 29 日に広く意見を求めるための公開シンポジウムも開催されました。現在は案の段階ですが、全国農学系学部長会議からの意見をふまえたり、第 23 期日本学術会議でのさらなる検討を重ねたりして最終版とする予定であるということです。

公開シンポジウムで紹介された参照基準(案)では、農学の定義、農学の固有の特性、農学を学ぶすべての学生が身につけることを目指すべき基本的な素養、学習方法及び学習成果の評価方法に関する基本的な考え方、そして市民性の涵養をめぐる専門教育と教養教育との関わり、という内容でまとめられています。各大学はそれぞれのミッションに従って教育を提供しており、参照基準（案）はこの教育の質を向上させるための示唆に富むものです。畜産学領域で参照基準を検討して教育課程の編成に活かすことは、教育の質を保証して、社会による畜産学の理解やこれから畜産学を志す学生諸氏にも有益です。

今年度の畜産学教育協議会シンポジウムでは、今後の畜産学教育を広い視点で考えるために、近畿大学生物理工学部の入江 正和 先生に「産官学から考える畜産学の研究・教育の強化」というご講演をいただきます。

次に、今回のシンポジウムに先立って、本教育協議会は昨年度のシンポジウム「社会が求める大学の畜産学教育」でのご意見や参照基準(案)をもとに、各大学が現在開講している開講科目の情報をアンケートでご回答いただきました。今回は畜産学教育の質の保証との関連で、畜産学分野教育の特徴、求められる学生の素養、特徴的な学修方法等について理解を深め、とくに「学修方法」を充実させるためにどのようなアイデアや課題があるかということを中心に意見交換します。

アンケートにご協力いただいた大学には有難うございました。今後も「日本学術会議」や平成 26 年 3 月に発足した「畜産学アカデミー」のご助言もいただきながら、畜産学教育協議会での検討を重ねて、畜産学教育の充実を継続的に協議する必要があると思っています。

会長 吉村幸則
広島大学大学院生物圏科学研究科